

# 大人の「発達障害」とはなにか

## ～抱える困りごととその対処法について

入場無料・手話通訳あり（会場のみ）

日時

令和 6 年

11月16日（土）10時30分～12時  
（開場10時15分）

場所

新宿区立障害者福祉センター 会議室(50名)

要予約（Zoom 申込は11月14日(木)まで）

- ・予約受付 電話:03-3232-3711 FAX:03-3232-3344
- ・ZOOM 申込み※：[ssk@pluto.plala.or.jp](mailto:ssk@pluto.plala.or.jp) 宛に

Zoom の ID 等受信できるメールアドレスを記載の上お送りください。

「人間関係が上手くいかない」「仕事でミスばかりしてしまう」「遅刻や忘れ物がなくなる」・・・進学や就職などで社会にでて、大人になってから「自分は・うちの子は・あの人は発達障害かも？」と気が付く場合があります。でも「発達障害」という言葉や特徴についてはなんとなく知っていても、どうやって対処したら良いの？相談先はどこ？どんな支援やサービスがあるの？身近な人ができることは？親亡き後の問題は？などわからないことも沢山あるのではないのでしょうか。

今回の講演会では、大人の「発達障害」について基本的なお話から、自立促進プログラムなどについて、加藤進昌氏をお招きしお話をうかがいます。

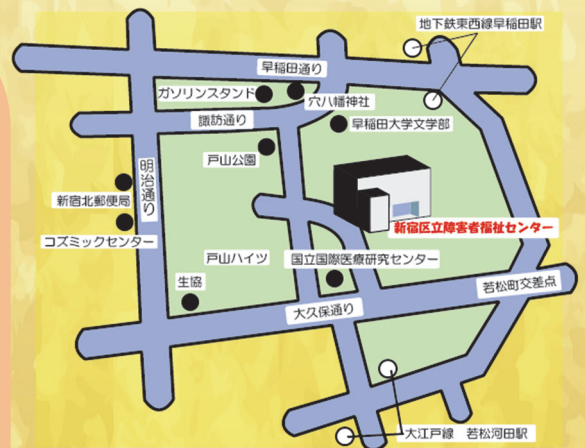
かとう のぶまさ  
講師：加藤 進昌氏



●講師プロフィール●

東京大学名誉教授、昭和大学名誉教授、公益財団法人神経研究所理事長。医師、医学博士。1947年、愛知県に生まれる。東京大学医学部卒業。帝京大学精神科、国立精神衛生研究所、カナダ・マニトバ大学生理学教室留学、国立精神・神経センター神経研究所室長、滋賀医科大学教授などを経て、東京大学大学院医学系研究科精神医学分野教授、東京大学医学部附属病院長、昭和大学医学部精神医学教室主任教授、昭和大学附属烏山病院長を歴任する。専門は精神医学、発達障害。2008年、昭和大学附属烏山病院に大人の発達障害専門外来を開設し、併せてASDを対象としたデイケアを開始。神経研究所附属晴和病院でも2013年から発達障害ショートケアプログラムを開設した。2014年には昭和大学発達障害医療研究所を開設し、初代所長に。また、研究所では脳科学研究戦略推進プログラム（脳プロ）に参画するなど、発達障害の科学的理解と治療、研究に取り組んだ。2023年より東京都発達障害者支援センター成人部門（おとなTOSCA）が神経研究所内に開設され、成人発達障害の相談を広く受け付けている。

主な著書：「ここは、日本でいちばん患者が訪れる大人の発達障害診療所」（プレジデント社、2023）など。



東西線早稲田駅より徒歩 10分  
大江戸線若松河田駅より徒歩 6分  
国立国際医療研究センター前バス停より  
徒歩 4分

※お車でのご来場はご遠慮ください。

【お問い合わせ】 ※詳細は障害者福祉センターHPをご覧ください。 URL:<http://shinjyuku-fukushi-center.org/>

新宿区立障害者福祉センター 新宿区戸山1-22-2 TEL: 03-3232-3711 FAX: 03-3232-3344